

2022年度 第41回東日本バレーボール大学選手権大会 開催要項

主催 (一財)全日本大学バレーボール連盟
北海道大学バレーボール連盟
東 北大学バレーボール連盟
北信越大学バレーボール連盟
(一財)関 東大学バレーボール連盟

主管 (一財)関東大学バレーボール連盟

I、大会日程

- 1、大会期間 2022年6月22日(水)～6月25日(土)
- 2、入場料 (未定)
- 3、開会・閉会式 感染拡大防止のため実施しない。
- 4、レフリークリニック
代表者会議 (未定)
- 5、大会会場
墨田区総合体育館
港区スポーツセンター
町田市総合体育館
小田原アリーナ
沼南体育館
※日程及び会場については、Ⅲの4. 競技日程よりご確認下さい。
- 6、表彰 表彰式は準決勝、決勝戦、各試合終了後、最低限の人数でコート表彰を行う。
- 7、新型コロナウイルス感染症への対策
 - (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について
公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技にかかわる大会等再開時のガイドライン」、全日本大学バレーボール連盟「東日本インカレ2022大会ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症の対応指針」を遵守すること
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策として大会関係者に以下の取組を定める
○参加するにあたり、厚生労働省が推奨する新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をインストールし正常に動作するよう設定しておくこと。
 - ※ 状況によって難しい場合は、大会開催2週間前から健康チェックシートにて体調管理を行う。
 - (3) 大会前及び大会期間中、コロナウイルス感染者や濃厚接触者、体調不良者が確認された場合、「新型コロナウイルス感染症の対応指針」に則って対応すること。コロナウイルス感染者や濃厚接触者が複数のチームで確認された場合、大会を中止することもある。
 - (4) **自チームの試合が終了後、可能な限り速やかに退館すること。**
 - (5) 大会2週間前から大会終了後2週間の期間に新型コロナウイルスの感染を疑う症状または発症した場合は保健所に確認の上、濃厚接触者の有無等について学連に速やかに報告すること。
また、経過観察について、以下の専用窓口にて随時報告する事。
○ 感染症対策窓口電話：080-7024-8970
○ 感染症対策窓口報告メール：health@juvf.jp

II、大会参加資格

1、チーム参加資格

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2022東日本バレーボール大学選手権大会に出場できるのは各地区学連で割り当てられた48チームとする。

	男子	女子
北海道学連	7	7
東北学連	8	7(内シード1)
北信越学連	4	5(内シード1)
関東学連	29(内シード8)	29(内シード6)
計	48	48

なお下記の条件を満たしていること。

- ① 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として登録されその在学生で構成されたチームであること。
- ② 2022年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
- ③ JVA 個人登録 (MRS) の登録者であること。

III、競技・審判の注意事項

1、競技規則

- (1) 2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 - ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
 - ② スタッフ、選手が途中参加の場合は事前に、審判・学連委員申し出ること。
 - a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
 - b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること。

2、競技方法

- (1) 1回戦のみ3セットマッチ2回戦以降5セットマッチ
- (2) 全試合各セット13点で消毒のためのタイムアウトをとる。
(5セット目はコートチェンジ前の8点で行う。)

3、試合使用球

- (1) 今大会は、男子がミカサ製カラーボール(V300W)、女子がモルテン製カラーボール(V5M5000)を使用する。
- (2) 全試合原則5ボールシステムで試合を行う。

4、競技日程

第1日	6月22日(水)	トーナメント1回戦・2回戦
第2日	6月23日(木)	トーナメント戦 3回戦
第3日	6月24日(金)	トーナメント戦 準々決勝・準決勝
第4日	6月25日(土)	トーナメント戦 決勝・表彰式

※3位決定戦は行わないものとする。

5、新型コロナウイルス 感染症対策

公益財団法人日本バレーボール協会による「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」と(一財)全日本大学バレーボール連盟の「2022年第41回東日本バレーボール大学選手権大会ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症の対応指針」を遵守すること。

6、選手・スタッフ 登録

- (1) (公財)日本バレーボール協会、及び(一財)全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
- (2) 選手のエントリーは18名以内とする。
- (3) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名トレーナー1名、マネージャー1名(但し、部長は(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申込受付後は、原則として、エントリーの変更は認めないので注意すること。
- (4) 正規の競技者とリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて13名以上、選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (5) 当日のエントリーは19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)とする。

7、競技者選手・スタッフ メンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ①第1試合は、試合開始の30分前までに、大会本部へ提出すること。
 - ②第2試合以降は、フロア開放後から試合開始30分前までに大会本部へ提出すること。
 ※入場についてはI.7(4)に記載。
 ③コンポジションシートの提出後の変更は認めない。
 ④部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合臨時役員変更届を学連担当者に提出すること。
- (2) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートの変更は、副審が記録員に手渡した後は認めない。
- (3) 連盟に正規に登録のスタッフが、男女同一大学の試合のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合はどちらかのチームにのみエントリーを行うこと。また変更者は登録を完了していること。

8、試合開始時刻

(1) 試合設定時刻

1日目	入場時間	フロア開放	試合開始
1 試合目	9:00	9:15	10:00
2 試合目	10:45	11:00	11:45
3 試合目	12:30	12:45	13:30
4 試合目	15:00	15:15	16:00
5 試合目	17:30	17:45	18:30

*進行状況により時間に変更になった場合は学連から連絡する。

(2) 2日目以降

2日目以降	入場時間	フロア開放	試合開始
1 試合目	10:00	10:15	11:00
2 試合目	14:00	14:15	15:00

*進行状況により時間に変更になった場合は学連から連絡する。

9、公式練習及び 試合時のベンチ

- (1) 公式練習の時間は、全日程各試合共に1チーム3分ずつ、合同6分とする。
- (2) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。クイック・モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。

- (3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(最大3名)を配置すること。
- (4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないように(ボールキーパー・クイックモップラーを含め、最大3名)を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切してはならない。
- (5) ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。(当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。)部旗は床に倒して置くこと。
- (6) ベンチには飲料水、救急用具等の必需品以外を持ち込まないこと。
- (7) 感染症対策として、タオル・ボトル・アイシングバッグは共用を禁止する。

10、ユニフォーム

- (1) ユニフォームナンバーについて
 - ① ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが15 cm以上、背部側は高さが20 cm以上であり、文字幅は2 cm以上のものでなければ着用を認めない。
 - ② ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
- (2) チームキャプテンは長さ8 cm、幅2 cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (3) ソックスについては長さとしを統一し、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない。
- (4) コルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
- (5) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色(対照的な色)でなければならない。(例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする)
リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (6) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (7) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は認められない。
- (8) エントリー届提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。(エントリーと異なる番号のユニフォームを着用し試合に出場した場合没収試合とする)
 - ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。
 - ② 使用するユニフォーム番号は1~99番とする。

11、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれる。
- (2) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)が、主審の許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。(リベロと交代してベンチに戻っている

- 競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い)。
- (3) リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり元のプレーヤーには戻れない。
 - (4) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。
再指名は認められないが、
もう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
 - (5) 再指名されたリベロが、プレーが出来なくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
 - (6) 監督がチームキャプテンをリベロとして再指名したときは、この要求を認めるが、チームキャプテンはリーダーとしてのすべての権利を放棄しなければならない。
 - (7) 監督が副審に、口頭で「リベロの再指名」を要求する(ハンド・シグナルは示さない)。
そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備をして立って
いなければならない。(再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る)
しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
- ① リベロが、コート上にいるときでも、再指名をすることができる。
セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える。
 - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。
再指名されたプレーヤーは、その試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

12、ワイピング行為 について

- (1) クイック・モップパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。
- (2) クイック・モップパーがない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持すること。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイック・モップパーが必ず行うこと。
- (4) クイック・モップパーが応援及びチームのマネージメント行為(ドリンク、アイシング作り等)をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) 感染症対策としてクイック・モップパーは密にならない場所または指示のあった場所で手袋を着用し、待機すること。この時、手袋は各自で用意すること。

13、競技全般の不法 行為の取扱い

- (1) 2022年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) (一財)全日本大学バレーボール連盟及び(公財)日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフ・選手が試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
 - ① 試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に従って処分する。
 - ② 試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。
- (4) 不法な行為については、同一人が同一試合での繰り返し行為は累進的な制裁受ける。
 - ① 「非スポーツマン的行為」及び「不作法な行為」については、そのプレーヤー・

スタッフに対し、試合全体と通して罰則が与えられる。
原則として次の手順を踏む、行為の内容によっては、レッドカードもあり得る。

(例)

- ・警告：ステージ1 口頭での警告
- ・警告：ステージ2 警告 イエローカードでの警告
- ・ペナルティ：レッドカードを示し、相手に1点与える
- ・退場：イエロー、レッドカードを同時に示す
(そのセットは終了までペナルティ・エリアに座る)
- ・失格：イエロー、レッドカードを別々に示す
(競技コントロールエリアから退去する)

②「攻撃的行為」については、1回目で失格とする。

14、試合前の待機中のチーム

- (1) 試合終了後の挨拶が終了し、換気・消毒作業後、学連員の指示があるまでフロア外に待機すること。

15、チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、(一財)全日本大学バレーボール盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。
(但し、マネージャーは当該大学生のみとする。)
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
- (3) 当該大学の学生で、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (4) 部長・監督は原則として季節に応じた正装(ジャケット必須)とする。
ただし、ネクタイ不要。コーチ・トレーナー・マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。
- (5) 部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (6) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (7) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (8) 審判員の判定に対するアピールや抗議や監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる。
- (9) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為)このような行為は制裁の対象となる。
- (10) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。

16、応援について

応援を行う際は、マスクを着用し、できるだけ間隔をあけて行うこと。
観客席での声を出しての応援は禁止とする。

17、学生補助役員について

- (1) 学生補助役員は14名(記録員2名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボール・リトリバー6名)で行う。
※会場によって配置人数が異なる場合もある。
その際マスクの着用をする、手袋をする、ボールをこまめにアルコール除菌するなど感染症対策を行うこと。
- (2) 1試合目の補助役員は関東学連に所属しているチームで学連サポーターとして補助役員を派遣する。なお、不足した際は同会場で同時刻に試合を行っている

他コートチームで補うこととする。

2 試合目以降の試合は負け審とする。

※コロナウイルス感染症の状況により変更の可能性あり

- (3) プロトコール開始15分前までに記録席に集合すること。
- (4) 学生補助役員は以下のように行う。
 - ① 補助役員は学連サポーターで補う。学連サポーターが不足している部分は、リトリバー・点示から同会場で同時刻に試合を行っている他コートチームで役割を分担させる。
 - ② チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること。
 - ③ 補助役員を行う学生は速やかに集合時間に記録席に集合すること。
- (5) ラインジャッジは審判員の一員として正確なジャッジをすること。
- (6) 点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (7) ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

18、棄権の取扱いについて

- (1) 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2022年度(公財)全日本バレーボール協会6人制競技規則、2022東日本インカレ開催要項・競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会に置いて、処罰の対象となるので十分注意すること。

19、会場使用上の注意

各会場マニュアルを熟読しておくこと。

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする
企業席・報道席を設ける為、企業関係者・報道関係者は該当する場所で観覧すること。
- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。
チームデータの為のビデオの充電は全会場学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙。喫煙については各施設の利用規則を厳守すること。
- (5) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。
各チームともに荷物の管理は徹底すること。
※忘れ物・紛失物に関しましては、各会場受付にてお預かりします。(大会開催中のみ) 恐れ入りますが各会場受付までご連絡下さい。
貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する。
- (6) 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。
翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力し、消毒して帰ること。
チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。
- (7) 会場で出たごみは各自（各チーム）責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。(特に弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。)
また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。
作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

20、その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。
- (3) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。以後の責任は負いません。
- (4) 練習会場は用意しません。
- (5) 宿泊・弁当については、各チームで手配してください。
- (6) チームで手配した弁当やゴミの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行う事。会場にゴミを放置したまま帰る等の行為は禁止です。

、大会申込方法

1、大会エントリー 申込期間

- 1、エントリー届申し込み **5月2日(月)～5月8日(日) 18:00 まで**
(原則としてどのような理由があっても締切期日までに間に合わない場合は参加を一切認めないので注意すること。)
新型コロナウイルス感染症により出場できず各地区学連内で参加する大学がなくなった場合、関東学連で補填する。期限は6月19日(日)までとし、それ以降は棄権扱いとする。

2、エントリー 変更申込期間

- 5月9日(月)～6月17日(金) 17:00まで**
(締切り期日を過ぎた場合は変更を認めないので注意すること)
① 申込受付後のエントリー選手の変更は原則認めないが、怪我や病気等での変更のみ認められる。その際、医師から診断を受け、怪我や病気等で診断書の提出により、最大2名まで変更できる
② 診断書は郵送で6月17日(金)までに全日本学連事務局宛とする。
③ **新型コロナウイルス感染症関連については6月19日(日)までとする。**

3、大会申込必要書類

申し込み書類提出にあたり、開催要項・ガイドラインを熟読し了承の上で書類を提出してください。

- (1) 今大会は、申し込みを全てメールによるデータの送受信で行います。
申し込み用アドレス 男子 m_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
女子 f_vgakuren_alljapan@yahoo.co.jp
- (3) 各申請用紙は(一財)全日本大学バレーボール連盟・東日本インカレのページからダウンロードしてください。
※間に合わない際は、メールにてその旨をお伝えください。
- (4) 振込について **振込期限は6月3日(金) 18:00とする**
 - ① 受付申し込み用紙 (参加料 20,000 円の振り込みコピーを添付)
 - ② 予約プログラム申し込み用紙 (1000 円(予定)×予約部数の振り込みコピーを添付)
 - ③ 参加料と予約プログラムは別々に振込んでください。振込む際、必ず大学名で振込み、大学名の前には男子ならば“M”、女子なら“F”を入力すること。
 - ④ ①・②は PDF 形式でメールに添付してください。
※受け付け申し込み用紙・予約プログラム申し込み用紙 の 2 点に関しては、出場が決定してから振込を行い、速やかに送付してください。(出場確定前に振り込みをした後、結果的に出場不可となってしまった場合でも、一度振り込まれたお金は返金致しかねます。)
- (5) エントリー用紙 Excel 形式について
注意事項に従いデータを入力し、Excel データのまま送付すること。

※ エントリー届と振込用紙の締切り期日が異なる為、注意する事

(6) 写真について

エントリー18名+スタッフ5名の集合写真（23名全員が写ってなくてもよい）

①不鮮明、ふざけた写真は撮り直しとする。

②選手、スタッフの顔がはっきり見えるように整列して撮影すること。

③選手はユニフォーム・スタッフは統一された服装で撮影すること。ポーズは禁止とする。

④写真はスマホで撮らずJPEG（写真の保存形式）で送ること。

- (8) 受付の返信通知は、(一財)全日本学連が受け取ってから確認ができ次第メールにて返信通知を致します。返信通知が遅い場合には、最終ページの連絡先にお問い合わせください。

4. 参加料

プログラム振込先

三井住友銀行 神田駅前支店 (店番220)

預金種別 普通預金

口座番号 1954081

一般財団法人関東大学バレーボール連盟

※一度振り込まれたお金は返金いたしません。

*日時：6月3日(金)18:00

5. 抽 選 会

日 時：6月5日(日) (時間未定)

抽選会は全日本学連委員で行う。

感染症対策の観点から代理抽選を行う。

抽選会の結果は速やかに全日本学連のホームページに掲載する。

【本大会に関する問い合わせ先】

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

T E L : 03-5244-4804 (18:00~21:00)

F A X : 03-5244-4805

E-mail : info@juvf.jp (上記時間外はこちらにメールを下さい。)

感染症対策の為、現在はメールでのご対応をしております。